

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第11号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行
東北風景写真家協会
仙台市宮城野区榴ヶ岡3-8-15
東北カラーデューブ(株)内
tel: 022-256-2141
編集 秋葉・進藤

東北風景写真家協会 第四回総会報告

平成二十二年二月十四日(日)当協会の第四回総会が仙台市の戦災復興記念館四階研修室にて開催されました。総会に併せ椎名亮介顧問のスライド&トークセミナーも開催され、冬季の撮影に役に立つお話が美しいスライドと共に紹介されました。(別欄に要約を記載)総会は提出された議事案を承認され無事終了しました。当日参加出来なかった会員の方々は総会資料をお送りさせて頂きましたので、ご覧下さい。

総会は午後4時30分に員異動状況と会員拡大に秋葉健一幹事兼編集長の司会にて松本幹事が、藤枝木会長より、写真展を開催したが「美しい日本」が壊れていく現状、今後「美しい日本」が続く様皆で努力してゆきたいとの挨拶。続いて竹内正顧問より、椎名顧問へセミナーに対してのお礼。美しい風景を求めて見直しがされている。当会も4回目の総会を迎えた。皆さんと共に美しい風景を楽しみ、また記録に残してゆきたい。会員が100名になると組織として活動していかねばならない。東北の風景も地域の会員と共に見直してゆきたい。と挨拶頂いた。

その後、定足数を確認(出席46名、委任状37名)総会の成立を報告。続いて議長に佐々木康照監事を選出。議長挨拶後議事に入りました。

一、平成21年度事業報告は秋葉幹事より一般的事項、撮影会、会報発行、役員会・幹事会を報告。会

誘だけでなく、各県で写真展をやり、地元の方とのコミュニケーションを取る巡回展を考えてはとの提案。山形の須貝会員から情報交換を月1回開催希望が出された。議長より会報を充実していくことが話された。

三、会計監査報告は佐藤義則監事より正確に処理されている旨報告され、意見も含め異議なしの承認されました。

四、平成22年度事業計画(案)は秋葉幹事より撮影会、展示発表会、セミナー及び撮影実習、組織拡大、季刊紙発行等について説明。

五、平成22年度収支計画(案)について渡邊会計幹事より説明。議長よりその他で会に対する希望や意見、気が付いたこと等問いつけ、秋田の小松会員より意見として、撮影ポイントで白神・十和田等見所があるので計画の希望が出され、椎名顧問より入会のお礼がなされた。

椎名顧問セミナー 「冬景色 光と影で美しく」



椎名亮介顧問

総会に先立ち、椎名亮介先生より、冬風景撮影のポイントについて、ご講演いただいた。

椎名先生には、以前にも、空間と色彩のバランスがとれた感動を覚える写真についてお話を伺ってきた。今回は単調になりがちな冬景色を

如何に印象付けるかについて、先生が主宰されている写真塾の実践も踏まえてご指導いただいた。

冬の風景は色彩の変化は乏しいが、雪や氷の世界にはシンプルで神秘的な魅力と感動がある。基本を大切に、光と影をうまく取り入れて画像の印象を豊かなものに変えていくことが大切である。主な題材のポイントをあげよう。

霧氷 暗いバックにして逆光で輝くように撮る。青空をPLで落としバランス良く入れて霧氷の白の美しさを表現しよう。

氷雪模様 自分でイメージして、自然の光を上手に取り入れる。朝の光や、色温度を生かして色彩に変化をつける。

雪景色 起伏のあるところ、斜面や曲線を入れて奥行きをだす。前景にバランス良く樹木等を入れるのも良い。降る雪は早

作品展を振り返って 藤枝克治

第2回作品展(美しい日本)平成22年2月5日(水)〜10日(木)の6日間せんだいメディアテーク5Fで開催されました。会員53名、顧問3名の先生方の作品も含まれ100点の作品展を行いました。作品展が盛りだくさんでした。作品は半切、クリスタルプリン、裏打ち額装すること、裏打ち額装すること、を原則統一したことで、会場はすっきりとした感じになりました。また竹内敏信、椎名亮介、竹内正各顧問の作品も来場者の目を引き作品展を盛り上

悪天候の日もある中、延べ1,560人のご来場を頂き、貴重なご意見、ご指導を頂戴しまして当協会に大変励みになりました。作品展が盛りだくさんでした。作品は半切、クリスタルプリン、裏打ち額装すること、裏打ち額装すること、を原則統一したことで、会場はすっきりとした感じになりました。また竹内敏信、椎名亮介、竹内正各顧問の作品も来場者の目を引き作品展を盛り上



メディアテーク5F会場

1. 年末の忙しい時期に作品の準備を終了しなればならなかった。

2. 参加費1万円、作品準備に約1万円と2万円以上掛かるのは、との声も聞かれた。もう少し安く出来ないか検討。

3. 作品選考会の件。選考をお願いする人とそうでない人と同じ扱いではないのか。

4. 出展作品選定からプリント、裏打ち、額装まで各自の責任で行う。搬入、撤去も各自の責任で行う。

5. 作品選定、タイトル連絡、費用納入等の締め切り厳守。

6. 作品展を他県で開催出来ないか。

等々いろいろご意見がでております。会員各位のご意見を伺いながら、より良い第3回作品展に向けて活動の糧にして参ります。

は至っておりませんが、いくつか検討課題が挙げられます。

1. 年末の忙しい時期に作品の準備を終了しなればならなかった。

2. 参加費1万円、作品準備に約1万円と2万円以上掛かるのは、との声も聞かれた。もう少し安く出来ないか検討。

3. 作品選考会の件。選考をお願いする人とそうでない人と同じ扱いではないのか。

4. 出展作品選定からプリント、裏打ち、額装まで各自の責任で行う。搬入、撤去も各自の責任で行う。

5. 作品選定、タイトル連絡、費用納入等の締め切り厳守。

6. 作品展を他県で開催出来ないか。

等々いろいろご意見がでております。会員各位のご意見を伺いながら、より良い第3回作品展に向けて活動の糧にして参ります。

初めての個展を開催して 進藤弘融

1月28日(木)〜2月2日(火)迄富士フィルムフォトサロン仙台にて高橋信一会員と一緒に個展を開催させて頂きました。その際には会よりお花をご贈り頂き、また多くの会員にお出で頂き、誠に有難う御座いました。高橋信一会員には技術的、精神的、物理的に大変お世話になり、竹内顧問にも的確なプリントのアドバイス頂き、開催に漕ぎ着けました。

初めての個展開催で色々気がついた点がありまして、ご参考までに書き記させて頂きます。

一、会場の準備・成功の一番の鍵です。富士フィルムフォトサロン仙台が閉鎖になるのでは?との話は一部出ていたため、既に一度個展を開催された高橋会員からの提案で一緒に申込が出来、現会場を借りられて幸いでした。「富士フィルム」さんに感謝!感謝!です。現会場は3月初旬で閉鎖しますが、東口に新たに移転・開場することが決まっております。

二、展示作品の選考。作品は100点程ピックアップ、竹内顧問と相談の上50点2Lに焼き、その中から35点に絞りプリント指示も細かくして頂いた。最終的に全紙と全倍にプリントした作品は会場の展示レイアウトを考えた上で予備も含め25点に決めました。

三、プリント・クリスタルプリントは高橋会員と最初から富士フィルムに決めていました。お値段と日数は少々余計に掛かり、時間的にも修正は難しい状況が想定され

